

集客施設における シェイクアウト訓練の実施例

※あくまで実施例であり、実施方法は各自で作成されているマニュアル等に従い、実施内容を検討してください。

訓練概要

タイムスケジュール

(2週間前程度) ポスター掲示

(前日)
適宜 館内放送による訓練周知

(当日)

10:25	館内放送により訓練案内
10:29	館内放送により訓練直前案内
10:30	館内放送により訓練開始案内 【身を守る行動の実施】 職員、ご協力いただける来館者
10:31	館内放送により訓練終了案内 連動した訓練として①②のいずれかの訓練を実施 ①【避難(誘導)訓練】 職員、ご協力いただける来館者 ②【情報伝達訓練・職員安否確認訓練】 職員
10:40	一連の訓練を終了

閉館後、訓練の検証

館内放送による訓練事前周知

○前日の放送周知

放送例文

「明日、午前10時30分から『奈良県いっせい地震行動（ナラ・シェイクアウト訓練）』を実施します。この訓練は、地震の発生を想定して、県内いっせいに1分間身を守る行動を行うものです。訓練に際し、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。」

○訓練開始 5 分前

放送例文

「本日、午前10時30分から『奈良県いっせい地震行動（シェイクアウト訓練）』を実施します。この訓練は、地震の発生を想定して、県内いっせいに1分間身を守る行動を行うものです。また、来庁者のみなさまにおかれましても、可能な限り身を守る行動をとっていただきますよう、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。」

○訓練開始 1 分前

放送例文

「まもなく、『地震です』という放送されますが、これは訓練放送です。お間違えのないようにお願いします。」

シェイクアウト訓練の例①

○訓練準備

- ・来館者がいる各フロアに、職員が「率先訓練実施者」(ゼッケン着用)として配置

○訓練開始

- ※シェイクアウト提唱会議作成の放送音源の使用
または下記例文を使用

放送例文

「訓練です。地震が発生しました。

訓練です。地震が発生しました。

身の安全を確保してください。姿勢を低くして、机の下などの安全な場所で、頭を保護し、揺れがおさまるまで動かないでください。

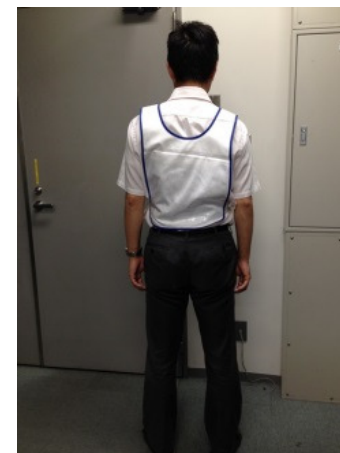
身の安全を確保してください。姿勢を低くして、机の下などの安全な場所で、頭を保護し、揺れがおさまるまで動かないでください。」

(1分後)

「訓練です。揺れがおさまりました。まわりの安全を確認して、もとにお戻りください。

訓練です。揺れがおさまりました。まわりの安全を確認して、もとにお戻りください。

これで訓練を終了します。ご協力ありがとうございました。」



シェイクアウト訓練の例②

○訓練実施

- ・各フロアに配置している職員（率先訓練実施者）が、その場で、身を守る行動を実施。（1分間）

行動の基本



安全行動1 姿勢を低くする (DROP)

- ・地震の揺れに伴う転倒を防止し、その場から動かされないようにするため、姿勢を低くする。

安全行動2 体や頭を守る (COVER)

- ・頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する。
- ・机など隠れる場所がない場合は、手や腕、カバンや本など、身近なもので頭を守る。

安全行動3 揺れが収まるまで動かない (HOLD ON)

- ・揺れている間に動くのは危険なので、揺れが収まるまで、1分くらいその場に留まり、動かないようにする。

シェイクアウト訓練の例③

○集客施設での誘導例



- あわてて行動し、出口や階段などに殺到することがないように呼びかける。
呼びかける内容は次のとおり。
「ただいま地震が発生しました（緊急地震速報が発表されました）。
当館は耐震化されていますので安全です。
その場で姿勢を低くし、頭を保護してください。」
- 事前に設定してある安全な場所に誘導し、安全な姿勢をとるよう呼びかける。

連動訓練の例①【避難（誘導）訓練】

ポイント

- 揺れがおさまったことを確認し、建物の避難経路に沿って、安全な場所（屋外）に避難。
- 館員は来館者を避難経路に沿って誘導する。
- 館内のすべてフロアで誘導するのではなく、一部のフロアに区切って誘導を実施
- 誘導後は、人数確認、負傷者の確認等を行い、報告後解散



連動訓練の例②

【情報伝達訓練・職員安否確認訓練】

ポイント

【情報伝達訓練】

- 各フロアの被害状況（来庁者・職員の負傷人数、建物の破損状況、書架の状況等）を本部に報告

【職員安否確認訓練】

- 職員の出勤状況や職員の負傷状況を確認し、まとめる。
- 出勤していない職員の安否確認や職員の家族の安否を確認する。

